

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-900	22-038	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b> Association of alcohol drinking with incident type 2 diabetes and pre-diabetes: The Guangzhou Biobank Cohort Study アルコール飲酒と糖尿病、耐糖能異常との関連 : Guangzhou Biobank コホート研究		
<b>執筆者</b> Li MJ, Ren J, Zhang WS, Jiang CQ, Jin YL, Lam TH, Cheng KK, Thomas GN, Xu L.		
<b>掲載誌</b> Diabetes Metab Res Rev. 2022 Sep;38(6):e3548. doi: 10.1002/dmrr.3548.		
キーワード	PMID	
アルコール脱水素酵素-1B、飲酒、アルデヒド脱水素酵素-2、空腹時血糖値、空腹時血糖値異常、2型糖尿病	35585795	
<b>要 旨</b> <p> <b>目的:</b> ベースライン時の飲酒と 2 型糖尿病または耐糖能異常の発症との関連を調べ、アルデヒド脱水素酵素-2 (ALDH2) およびアルコール脱水素酵素-1B (ADH1B) の遺伝子多型によって関連性が修飾されるかどうかを検討した。         </p> <p> <b>方法:</b> 広州の中国人高齢者を対象とした広州バイオバンク・コホート研究 (GBCS) を対象とした。対象者は 50 歳以上 (平均=60.45、標準偏差=6.88) で、2003 年から 2008 年まで、ベースライン時にアルコール摂取の情報を収集した。2 型糖尿病の発症は、追跡調査時 (2008-2012) の空腹時血糖値が 7.0 mmol/L 以上または負荷後血糖値 11.1 mmol/L 以上、自己申告による 2 型糖尿病および/または追跡調査中の低血糖薬やインスリンの開始と定義した。耐糖能異常は、空腹時血糖値 <math>\geq 5.6</math> mmol/L かつ 7 mmol/L 未満と定義した。         </p> <p> <b>結果:</b> ベースラインで 2 型糖尿病がなかった 15,716 人、2 型糖尿病も耐糖能異常がなかった 11,232 人のうち、平均 4 年の追跡期間中に 1,624 人 (10.33%) が 2 型糖尿病、1,004 人 (8.94%) が耐糖能異常に新たに罹患した。多変量調整後、飲酒しない場合と比較して、時々または中程度の飲酒は、高血糖 (2 型糖尿病+耐糖能異常) の発症リスクと関連しなかった (オッズ比 (OR) =1.10、95%信頼区間 (CI) 0.95-1.27、0.90 (0.69-1.18)) が、大量の飲酒は高血糖 (2 型糖尿病+耐糖能異常) の発症リスクと関連していた (OR=1.82、95%CI1.24-2.68)。2 型糖尿病および/または耐糖能異常の発症に対する性、過体重/肥満、ADH1B/ALDH2 遺伝子の遺伝子多型と飲酒の交互作用は、認められなかった (交互作用の P 値は 0.12~0.85)。         </p> <p> <b>結論:</b> 本結果は、大量のアルコール摂取が耐糖能異常および 2 型糖尿病に有害な影響を与えることを支持するものであった。また、ADH1B/ALDH2 遺伝子の低リスクアレルを持つ人には、保護効果は認められなかった。         </p>		